



ふれあいの丘
天文館だより



★開館5周年記念事業★

記念講演会『宇宙の放浪者 彗星とは？
～大彗星の出現なるか？～』参加者募集

大田原市ふれあいの丘天文館は平成20年4月に開館し、今年で5周年を迎えました。

そこで、開館5周年を記念して、テレビや雑誌などでも活躍されている国立天文台副台長の渡部潤一先生をお迎えし、今年話題の彗星についてお話しさせていただきます。

【講師紹介】 渡部潤一

1960年、福島県生まれ。東京大学大学院、東京大学東京天文台を経て、現在、自然科学研究機構国立天文台副台長、教授、総合研究大学院大学教授。理学博士。太陽系小天体の研究の傍ら、講演、執筆、メディア出演など幅広く活躍。国際天文学連合では、惑星定義



委員として準惑星という新しいカテゴリーを誕生させ、冥王星をその座に据えた。著書に「新しい太陽系」(新潮新書)など多数。

●日時 7月21日(日) 午後2時30分～4時
(開場:午後2時 開演:午後2時30分)

●内容 宇宙の放浪者：彗星とは？
～大彗星の出現なるか？～

パンスターズ彗星は肉眼彗星にはなったものの、春霞に隠され見えた人は少なかった。アイソン彗星は、太陽に接近し肉眼でも見られる大彗星になると期待されています。宇宙の放浪者である彗星について、その正体を解説するとともに、年末のアイソン彗星の観察の仕方などを紹介します。

●場所 ふれあいの丘シャトーエスポワール
1階 多目的ホール

●定員 先着100名

●参加費 無料

●申込方法 6月11日(火)から開館日の午前9時～午後9時に電話で申し込み

※休館日・毎週月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日)
・祝日の翌日
・年末年始(12月30日～翌年1月3日)

問 ふれあいの丘天文館 TEL (28) 3254

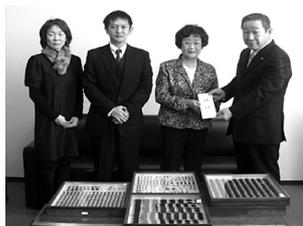
申 詳しくは [ふれあいの丘天文館](#) 検索

ふれあいの丘
自然観察館だより

『船山コレクション展』

6月1日(土)～7月7日(日)

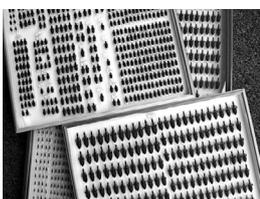
昨年1月に亡くなられた日光市の昆虫愛好家船山幸広さんの妻、船山則子さんが本市に寄贈してくださった昆虫標本を展示します。



船山さんご家族と市長

会社員だった船山さんは、40歳ころから趣味で昆虫採集を始め、病気で亡くなるまで野山を歩き回り、県内の甲虫を中心に採集されました。

寄贈された標本箱(150箱、約2万8,000匹)には、県内のほとんどのカミキリムシやオサムシのなかまのほか、御蔵島(伊豆七島)の「ミクラミヤマクワガタ」など貴重な昆虫も含まれています。さらには、体長数



寄贈された標本

ミリの甲虫をていねいに処理し、1箱に582匹も整然と並べられた標本箱もあります。船山さんの「昆虫への熱い思い」が伝わるコレクションです。多くの市民の皆さんのご来館をお待ちしています。

■ミクラミヤマクワガタ

体長が3cm前後の小さなクワガタで、幼虫時代は腐葉土などの中で1～2年過ごします。成虫の期間は約1カ月と短く、ほとんど飛ばずに地上を歩いて移動します。



ミクラミヤマクワガタ

現在、採取が禁止されている世界中で御蔵島と神津島にしか生息していない大変貴重なクワガタです。

○マンモスの歯

好評だった「化石展」で展示できなかった当館所蔵の化石を追加展示していますが、その中から「マンモスの歯」を紹介します。



マンモスの歯

写真からもわかるように歯の上面が洗濯板のような凹凸があり、これはマンモスを含めたゾウ類の歯の特徴です。約400万年～1万年前ころまで生息していました。

このほか、大変珍しい化石も展示していますので、実物をぜひご覧ください。

問 ふれあいの丘自然観察館 TEL (28) 3251

詳しくは [ふれあいの丘自然観察館](#) 検索